

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

対象期間：2019年1月～2019年12月

事業所名：放課後等デイサービス スマイルハート

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	今後の改善内容
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		指定基準は超えている。下校時間の違いなどによって、部屋を仕切ったり静養室を活用し、スタッフの目の行き届く様にしている。	仕切ると狭く感じることもある。移転を検討する。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			職員の体調不良が重なると、不足してしまうことも考えられるので、多めに職員を配置している。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	自立に向けて、敢えてバリアフリー化の配慮を控えている。但し、事業所の設備等の危険箇所回避は最優先している。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			参加可能な職員が最も多い日で会議を実施している。参加できなかった職員に関しては、別日で情報共有している。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			極力、保護者等の意向等を受け入れていく方針である。但し、全て取り入れることは難しいこともある。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて掲載する。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	未だ実績が無い。	第三者による外部評価を実施していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内研修のみでなく、社外研修へ積極的に参加できるように機会を確保する。	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			相談員や学校担任、その他関係機関からの情報も取り入れ、児童発達支援管理責任者が作成している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			必要な追加項目は無いかなどの意識を持ち、細かなところまで状況把握している。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児童発達支援管理責任者を中心に、行っている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節毎に変化させて固定はせず、季節感のあるものや新しい活動を積極的に取り入れている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			実施するタイミングなども考慮し、課題を設定して支援をしている。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在は該当する契約者がいない。	今後も受け入れない方向である。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	現在は該当する契約者がいない。	今後、該当する場合には、支援内容等の情報を提供していく。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	機会を設けていない。	今後、機会を設定する。
	㉖	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時や面談時、内容変更発生時などに都度説明をさせていただいている。	
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	機会を設けていない。	今後、機会を設定する。
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		すぐに情報を整理し、時間をかけずに当日連絡をする。	
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		お便り発行や、必要に応じて情報発信をしている。	
	㉞	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㊀	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	機会を設けていない。	今後、機会を設定する。
非常時等の対応	㊁	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	㊂	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		
	㊃	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		社内研修や外部研修を行っている。	
	㊄	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	現在は該当する契約者がいない。	今後、該当する場合には、十分に説明し了解を得ていく。
	㊅	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	㊆	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			